

プリアジャストエッジワイズ装置を用いた矯正歯科治療

Orthodontic Treatment using Preadjusted Appliance

コース番号 09182101

実習有

4日間

日本歯科
医師会認定

講師

北井 則行 Noriyuki Kitai 村林 学 Manabu Murabayashi
藤原 敦 Atsushi Fujiwara 竹内 綾 Aya Takeuchi

朝日大学大学院歯学研究科連携プログラム

概要

永久歯列期に行う包括的矯正歯科治療では、すべての歯の位置を三次元的にコントロールする必要があり、そのために、マルチブラケット装置を用います。近年では、ストレートワイヤーを用いて歯を三次元的に正しい位置に排列するための仕様が組み込まれたエッジワイズ装置(プリアジャスト装置)による矯正歯科治療が主流となり、治療方法が体系化されてきました。プリアジャスト装置を用いることにより、複雑なワイヤーベンディングの必要がなくなり、治療が簡便になりましたが、プリアジャスト装置を用いて適切に歯を移動させるためには、いくつかの注意点や工夫が必要になります。

本研修では、プリアジャスト装置を用いた矯正歯科治療という内容に重点をおき、Angle I級叢生症例を例に挙げて、装置の原理、治療メカニズム、治療を効率よく行う方法及び治療の際に注意しなければならない点などを、実習をまじえてわかりやすく解説いたします。

プログラム

講義(Lecture)

1. 症例の概要説明
2. 診査(問題志向型アプローチのためのデータベース作成)と診断(治療計画の立案)
3. ブラケットポジショニング
4. アライメント(排列)とレバリング(平坦化)の治療メカニズム
5. スペース閉鎖の治療メカニズム・スペース閉鎖のさまざまな方法
6. フィニッシング(仕上げ)とディテリング(微調整)の治療メカニズム
7. 難症例の見分け方

実習(Hands on)

1. 診断資料の整理・治療計画書作成
2. ブラケットボンディング(口腔模型上での実習)
3. アライメント(排列)・レバリング(平坦化)
4. スペース閉鎖
5. フィニッシング(仕上げ)とディテリング(微調整)

POINT!

本コースは、日常臨床でよくみられるI級叢生に対する包括的な矯正歯科治療を通じて、不正咬合の診査法、診断、治療計画の立案から治療メカニズムにいたるまで、実習を通じて臨床的な注意点を解説する歯科矯正臨床コースです。少人数制のコースで講師陣がマンツーマンで指導いたします。また、難症例の見分け方の解説や具体的な症例相談にも応じます。

- 日 時 4日間
2018年4月15日(日) 10:00~17:00 4月29日(日) 10:00~17:00
2018年4月30日(月・祝) 10:00~17:00 5月13日(日) 10:00~17:00
- 会 場 岐阜・瑞穂市 朝日大学1号館2階 臨床系第2実習室
- 定 員 8名
- 受講料 150,000円
(入金をもって受講登録とさせていただきますので、予めご了承ください。)
- ◆分割払制度を利用した場合は、毎月のお支払額5,300円(30回分割)で受講できます。
(詳細は、42ページをご参照ください。)

詳細・変更情報などはホームページをご覧ください。 <http://www.m-a-univ-ce.com>